



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立内町小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立内町小学校 5学年40名, 6学年35名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間・体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックの講話と一緒に運動することを通して、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての意欲を高めたり、運動の楽しさや最後まであきらめない心の大切さを味わったりすることができる。
5 取組内容	<p>○ 総合的な学習の時間「オリンピックを楽しもう」 オリンピック・パラリンピックに関するクイズを楽しみながら、オリンピック・パラリンピックについての歴史や意義、競技種目等について確認した。また、オリンピックの田中選手が来ることを伝え、体操競技をしている動画を視聴することで、実際の講演や体操教室に対する意欲を高めた。</p>  <p>○ 総合的な学習の時間「オリンピックを楽しもう」 体育科「マット運動」 【講演「体操から学んだこと」】 講師にロンドンオリンピック体操競技銀メダリストの田中和仁さんを招き、体操競技を通して学んだことを講演していただく。実際の経験を基に「①何事にもベストを尽くすこと」「②仲間を大切にすること」「③支えてくれる人に感謝の気持ちをもつこと」について講演をしていただく。講演の後半には、子どもたちからの質問タイムも設</p> 

定されており、子どもたちなりに感じたことを田中選手に伝えたり、もっと運動ができるようになるためのコツを伺ったりすることができた。

【体操教室の流れ】



子どもたちと一緒に活動していただく。普段の体育科の授業で行っている準備運動とは異なっていたため、子どもたちは意欲的に運動することができていた。子どもたちにとって「ちょっと難しい動き」を田中選手から提示して

いただいたことで、さらに意欲を高め運動に親しんでいった。

また、田中選手の技を見せていただく。本物の技を見せていただくことで、子どもたちのマット運動に対する興味・関心が高まった。自分もマットを使っているいろいろな動きをしたいという思いをもち、それぞれの課題を明確にし、マット運動に親しんだ。その際、田中選手はマットを回り、子どもたちに声をかけてくれたり、テクニカルポイントを伝えてくれたりした。オリンピック選手から直接指導していただくことは、とても貴重な経験になった。



【体操教室の様子】



6 主な成果

- ロンドンオリンピック体操競技銀メダリストの田中和仁さんの講演にあった「①何事にもベストを尽くすこと」「②仲間を大切にすること」「③支えてくれる人に感謝の気持ちをもつこと」について理解するとともに、困難があっても最後まであきらめずに取り組む大切さについて学んだ。
- 楽しい雰囲気の中で体操教室を行うことで、子どもたちはマット運動の楽しさを味わうことができていた。市小教研研究発表でも、マット運動を楽しみながら活動する姿が多く見られた。
- オリンピック選手と直接出会うことで、オリンピックに対する子どもたちの興味・関心が高まった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- 子どもたちに運動の楽しさを味わわせるために、講話だけではなく、実際に体験することができる内容にした。
- オリンピック・パラリンピック教育として、事前にクイズ形式で事前指導をした。子どもたちの興味・関心を高めたり、オリンピック・パラリンピックについての意義や歴史を捉えさせたりする上で有効であった。

8 主な課題等	<p>○ 地域・家庭への発信や連携が十分でなかった。地域・家庭も参加して（あるいは参観して）活動ができるようにすると、子どもたちのオリンピック・パラリンピックに対する意欲は更に高まると考える。</p> <p>○ 総合的な学習の時間を用いて実践をしたが、オリンピック・パラリンピック教育については単発的になってしまった。年次計画を立て、各教科等との関連を図りながら取り組み、オリンピック・パラリンピックについての意欲を高めていきたい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○ 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに対する意欲が高まるように、総合的な学習の時間や社会科等の時間に、機会を捉えて指導をしていきたい。</p>